# 救護班要員　辞令交付式

令和７年度の救護班要員として職員 51 名が選出され、令和７年５月 15 日に辞令交付式が執り行われました。辞令交付式では、新規任命者等 25 名の救護班要員が参加し、日本赤十字社兵庫県支部 事務局長から委嘱状の交付を受けました。また、築部院長からは、災害救護は赤十字の最大の使命だと激励のお言葉を頂き、救護班要員は身の引き締まる面持ちで聞き入っていました。

【新規救護班要員（看護師）の感想】

国内外問わず災害は起きており、記憶に新しい活動では、令和６年能登半島地震があり、全国各地の日赤救護班が派遣され救護活動に尽力してきた。

実際の救護活動報告を聞いて、自分が救護班の一員であったとき常に冷静でかつ迅速な判断力を持って救護活動にあたれるのだろうかと考えることがあった。

災害はいつ起きるかわからないため、一人でも多くの命を救うために基本的な知識・技術を習得してどんな状況でも最善を尽くし、仲間との連携をも大切にし、常にコミュニケーションを取りながら迅速な対応が出来るように努めたい。また、恐怖の中にいる傷病者の心にも寄り添い、少しでも安心を届けられる救護要員を目指して行きたい。